

## 台風10号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり超大型の台風10号が明日から15日にかけて西日本への接近・上陸が予想されています。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

### 1. 台風10号の進路予測

8月13日午後12時45分の気象庁予報部発表によると、超大型の台風第10号は、13日12時には種子島の南東にあり、時速およそ20kmで北西へ進んでいます。中心の気圧は965hpa、最大風速は30m、最大瞬間風速は45mで、中心から半径330km以内という広い範囲で風速25m以上の暴風となっています。

今後、台風は発達しながら日本の南を西北へ進み、明日から15日にかけて暴風域を伴って強い勢力で西日本に接近し、上陸するおそれがあります。



台風10号の進路予測 (8/13 午後12時気象庁発表)

### 2. 気象予想

#### 【暴風・高波】

西日本から東日本の太平洋側や南西諸島では台風の接近に伴って風が強まり、本日夕方から15日にかけて非常に強い風が吹き、西日本の太平洋側では明日夜から猛烈な風が吹く所があります。また、西日本から東日本の太平洋側では本日夕方からうねりを伴って大しけとなり、明日夕方から15日にかけて猛烈にしける所がある見込みです。

#### 【高潮】

本日から19日にかけて大潮の時期にあたるため平常時の潮位が高くなっており、西日本では台風の接近に伴って明日夜のはじめ頃から15日にかけて、高潮のおそれがあります。海岸や河口付近の低地での高潮に注意・警戒してください。

#### 【大雨・雷・突風】

東日本と西日本の太平洋側を中心に、台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。本日昼過ぎから雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、台風が接近する前から、東から南東斜面を中心に大雨となるおそれがあります。また、台風の接近に伴って明日から15日にかけて台風本体や周辺の発達した雨雲が流れ込むため、雷を伴った猛烈な雨の降る所があり、西日本中心に雨量がさらに多くなる見込みです。

15日以降も、南から暖かく湿った空気が流れ込むため西日本から東日本の太平洋側を中心に広い範囲で雨が降り、台風の接近及び通過による総降水量は、西日本から東日本太平洋側の南東斜面を中心に、多い所で1,000mmを超える大雨となるおそれがあります。

土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。

### 3. 事前の対策について

“超大型”の台風 10 号。“超大型”とは、風速 15m以上の強風域の半径が 800km以上(直径 1,600km)であることを指しますが、現時点での強風域は中心の南側 1,100kmと北側 600kmとなっています。なお、超大型の台風が発生するのは、2017 年以來 2 年ぶりとなります。台風のサイズが大きく、比較的ゆっくりと通過するため、記録的な豪雨の可能性も懸念されています。

台風	大阪		神戸	
	21 号	24 号	21 号	24 号
推算潮位	52cm	53cm	52cm	56cm
最高潮位	329cm	131cm	233cm	126cm
偏差	277cm	78cm	181cm	70cm

右図は昨年、近畿地方を中心に暴風や高潮等をもたらした台風第 21、24 号が近畿地方を縦断したときの大阪と神戸の潮位です。

台風 21、24 号発生時の潮位変化 (出典：気象庁)

推算潮位は 100cmを下回っていたにもかかわらず、瞬間値ではそれよりも 227 cmも高い潮位を観測しており、台風襲来時の高潮リスクの大きさを示す結果となりました。今回は台風の接近が大潮と重なるため、事前に十分な対策を講じることをお勧めします。

台風対策の基本は、風雨からの『遮断』と浸水に対する『高所避難』となります。台風到来直前の主なチェックポイントと対策をご紹介します。併せて、現場用点検チェックシートを添付致しましたのでご活用下さい。

#### <気象情報と事前対応>

- ✓ 気象情報をこまめに取得し、過去の災害事例などと共に関係者と共有する
- ✓ どのタイミングで何をするのか、具体的な事前対応について再確認する

#### <屋内保管貨物>

- ✓ 「ネステナー」「パレットサポート」などを活用して貨物を嵩上げする高層ラックにおいては、高い棚に貨物をはい替える
- ✓ 倉庫 2 階やメザニンなどの高所に貨物を避難させる
- ✓ 空きトラックの荷台に貨物を避難する
- ✓ 近隣に安全な倉庫がある場合は重要貨物を避難させる

#### <屋外保管貨物>

- ✓ 可能な限り貨物を屋内へ避難させる
- ✓ やむを得ず屋外保管をする場合は、屋外のなかで最も地盤高が高く、強風や波を直接受けない安全な場所へ移動させる
- ✓ 防水シートやカバーで保護し、強風で飛ばないように、貨物・防水シート・カバーは強固に固定する

#### <倉庫・設備>

- ✓ 建物開口部から浸水しないよう止水装置を設置する
- ✓ 排水溝を清掃し、排水能力を確保する
- ✓ 電気系統などの重要な設備は厳重に止水対策を講じる
- ✓ 窓・扉等の開口部の内側を養生する
- ✓ エレベーターなどを 2 階以上に移動させておく

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」  
[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)

【出典】気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。